

「これってどういう意味？—お店の人の日本語」【台本】(1人Ver.)

収録日: 2025/●/● 収録場所: ●●

公開日: 2025/●/●

パーソナリティ: ○○先生 (拠点:)

✓ 想定するリスナー層: 日本語学習者・生活者

- リスナーの疑問 : これって、どういう意味？
- ラジオ番組の効果①: リスナーの日常の疑問が解決
- ラジオ番組の効果②: 日本語のリスニング能力の向上
- リスナーのメリット: 日本での生活がより快適になる

✓ 本番組の構成

- オープニング: 番組紹介 & BGM(1分)
- 本日のテーマ: 「お店の人の日本語は特別？」(●分)
- メイン: 「お店の人の日本語」(●分)
- エンディング: 出演の感謝 & 締め言葉(1分)

以下、本番組のタイムテーブルです。

お店の人の日本語: いらっしゃいませ／何名様ですか／ご予約ですか／こちらへどうぞ／お決まりになりましたか／何になさいますか／かしこまりました／一緒に○○はいかがですか／ご注文を繰り返します／他はよろしいですか／お待ちどうさまでした(お待たせしました)／少々お待ちください／お会計は一緒にお願いします／またどうぞ(またお待ちしております)

✓ 本番組のタイムテーブル

TIME	FLOW(全体の尺: ●分)
00:00	■ オープニング: 番組紹介 & BGM(1分) □ <u>番組紹介</u> ※イントロは毎回同じことを言う。

M： みなさん、こんにちは！お元気ですか。

今日も「これって、どういう意味？」が始まりました。

この番組ではテキストには書いていない、レッスンでは出てこない、でもネイティブが毎日普通に使っている日本語をシーン別、トピック別にお届けします。

・本日のテーマ：お店の人の日本語は特別？（●分）

M： 皆さんは日本でレストランに行ったことがありますか。←必ず質問から入る

そこでお店の人（スタッフ）と日本語でコミュニケーションしたことがありますか。最近QRコードやタッチパネルで注文できるお店も増えてきました。最初に言語（Language）を選べば簡単にオーダーできますから便利ですね。でもそれは大きな店やチェーン店など、まだ一部の店だけです。日本に住んでいたり旅行したりするときはお店の人と日本語で話さなくてははいけません。そしてレストランなどの「食べ物屋さん」の日本語は少し特別なんです。特別なフレーズを覚えて自分の食べたいものを日本語でオーダーできたら楽しいですよ。

今日は「お店の人の日本語」を紹介します。

・メイン：お店の人の日本語（●分）

M： では、早速「これって、どういう意味？—お店の人の日本語」を紹介します。

まずはボキャブラリーです。

いらっしゃいませ／何名様ですか／ご予約ですか／こちらへどうぞ／お決まりですか／何になさいますか／かしこまりました／こちらも一緒にいかがですか／他はよろしいですか／ご注文を繰り返します／以上でよろしいですか／お待たせしました／少々お待ちください／お会計は一緒にお願いします／またどうぞ

最初はこれです。

「いらっしゃいませ」「何名様ですか」

—「いらっしゃいませ」は英語で「Thank you for coming.」です。

「私たちのお店に来てくれてありがとうございます。」という、
お店の人からお客さんに対するお礼の気持ちを表すフレーズです。

—「何名様ですか」は英語で「How many people?」です。

答えるときはoneは「ひとりです」、twoは「ふたりです」、threeからは

「数字+にん」で「さんにんです」「よにんです」「ごにんです」…のように言います。

お店の人がこう言うときもあります。

「ご予約ですか。」—Do you have a reservation?

—もし前もって予約をしていたときは「予約したスミスです。」

と、予約した名前を言います。

—予約していないときは「いいえ、予約していません。」と言います。

次にお店の人はこう言います。

「こちらへどうぞ」

—これは「あなたの席まで案内します。」という意味です。

席に座って、メニューを見て注文するものが決まったら、お店の人を呼びます。

「すみません。」—「Excuse me」

するとお店の人が席まで来てこう言います。

「お決まりですか。」—Are you ready to order?

こう言うこともあります。

「何になさいますか。」—What would you like to order?

注文したいものを言うとお店の人がこう言います。

「かしこまりました。」—certainly.

注文の時、ときどきお店の人がおすすめ(recommendation)を言います。

「こちらも**ご一緒にいかがですか**」—Would you like this together?

もし注文したい時は、

「じゃあ、ひとつお願いします。」

—と、「注文したい数+お願いします。」で言います。

この時の数え方は「ひとつ (one)」、「ふたつ (two)」、「みつつ (three)」、「よつつ (four)」、「いつつ (five)」、「むつつ (six)」、「ななつ (seven)」、「やつつ (eight)」、「ここのつ (nine)」、「とお

(ten)」です。

もし注文したくない時は、

「大丈夫です。」

—と言います。

注文を言い終わるとお店の人がこう言います。

「他はよろしいですか。」—Would you like anything else?

まだ注文したいものがある場合は、

—「あと、〇〇をお願いします。」と言います。

もう注文したいものがない場合は、

—「以上で。」と言います。

最後にお店の人が注文したものを確認します。

「ご注文を繰り返します」—と言ったあと注文したものと数を言って、

「以上でよろしいですか。」—と言います。

—合っていれば「はい。」、違う時は正しい注文を言います。

注文したものを席まで持ってくると、お店の人はこう言います。

「お待たせしました。」—Thank you for waiting.

もし途中でお店の人を呼んだ時、お店の人が忙しい時は

「少々お待ちください。」—Please wait a moment.

と言いますので席で待ちます。

食事が終わってお店を出る時、日本では出口の近くのレジで払います。

日本ではをすることも多いです。

その時は、「別々でいいですか？」と聞きましょう。

そのときお店の人が

「お会計はご一緒にお願いします」—Please pay your bill together.

と言ったら、まとめて払います。

お金を払うと最後にお店の人がこう言います。

「ありがとうございました。またどうぞ。」

—Thank you for coming. Hope to see you again.

最後にお店を出るとき、こう言います。

「ごちそうさまでした。おいしかったです。」—Thank you. It was delicious.

お店の人がとても喜びますよ。

■エンディングトーク：本日のまとめ& 締め言葉（1分）

今日ご紹介した「お店の人の日本語」はいかがでしたでしょうか。

日本には美味しいものがたくさんあります。大きな街にも、観光地にも、会社の近くや住んでいる町にもたくさんのレストランがあります。気になるお店があったら今日のボキャブラリーとフレーズを覚えて、使ってみてください。きっととても楽しくておいしい時間を過ごせますよ！

では最後に今日のフレーズをもう一度。（←最後に必ず復習タイム）

「すみません。」、「じゃあ、ひとつお願いします。」、「ごちそうさまでした。おいしかったです。」

M：最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。（←必ずお礼と締めを入れる）

この番組を聞いて「生活の日本語」「生きた日本語」をたくさん覚えて、ぜひ実際に使ってみてください。

それでは、次回もどうぞお楽しみに！また聞いてくださいね！さようなら～。